

# 平成 26 年度第 3 回松島町総合計画審議会

## 摘 録

■開催日時 平成 27 年 3 月 24 日（火）  
10 時 00 分～12 時 00 分

■場 所 松島町役場 3 階 大会議室

### ■出席者

委 員：宮原育子会長、福田正朗職務代理者、君島智子委員、大宮司光生委員、寺田賢二郎委員、渡邊宏委員、相澤多恵子委員、飯川洋一委員、磯田悠子委員、内海勝洋委員、内海陽一委員、小畑隆保委員、後藤澄子委員、遠山勝雄委員、林裕志委員、朱二太委員

欠席者：平秀毅委員、小島等委員、蜂谷雅美委員、

事務局：亀井企画調整課課長、小松震災復興対策監、千葉まちづくり支援班班長、  
松村主査、針生主事  
中央コンサルタンツ(株)

### ■次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 報告事項
  - ①住民アンケート・Web アンケート調査結果の概要について……………【資料 1】
  - ②松島町の現状と課題について……………【資料 2】
- 4 協議事項
  - ①松島町長期総合計画における「将来像」と「計画の柱」について【資料 3】
- 5 閉会



■総合計画審議会の開催状況

## ■議事要旨

### 1 開会

(事務局)

- ・開会の挨拶

### 2 あいさつ

(町長)

- ・本日は主にアンケート結果を事務局から説明する。それに基づき今後の松島の将来像と計画の柱について、協議して頂きたい。よろしく願います。

(会長)

- ・今回も住民の方のアンケートや総合計画の柱の部分をご審議いただく。先日行われた国連の防災会議が行われた。当初4万人ほどを見込んでいたが、延べ15万人ほどが仙台に集まった。シンポジウムとフォーラムが連日あり、私も様々なフォーラムに参加した。大勢の人が参加し積極的な意見交換が行われた。被災地視察もあり、海外の方も熱心に視察していた。集中復興期間が終わり、その後、町がどうやって元気になっていくかというところも関心を持って見てくださると思う。
- ・今後、松島町の住民の方の満足度を上げていくため、総合計画の策定が重要である。是非皆さんから色々のご意見を頂きたい。

### 3 報告事項

(事務局)

- ・資料1の説明

「①住民アンケート・Webアンケート調査結果の概要」について

(会長)

- ・何かご質問やご意見があればお願いしたい。

(委員)

- ・アンケートの回収率について、地区ごとの配布数に対する回収数の割合のほかに、全体の回収数に対する地区ごとの回収数の割合を記載しなかった理由はあるのか。

(事務局)

- ・資料に記載されている割合は、地区ごとの発送部数が異なるため、地区ごとで発送した部数に対してどれだけ回収があったかという地区別の回収率の違いを確認するために算出した結果である。ご指摘を頂いた全回収票数に対する割合も一つの指標になるため、追加整理する。

(委員)

- ・全体の集計結果を見ると松島は観光の町だと言われていながら観光の町を希望している人は少ない。しかし、地区によっては、観光を重視しているところもある。集計の仕方によって結果にずれが生じてしまう心配があるため伺ってみた。

(委員)

- ・アンケート結果は肯定的な意見について言及されている。総合計画を立てる上での課題を発見する点では否定的な意見を言及していかないと次の施策の根拠にならない。例えば愛着を感じているかという設問に関しては、高齢の方ほど愛着を感じているという分析になっているが、どちらかという若い世代に愛着が少ないことに着目すべきではないか。それは全体の項目に当てはまることである。

(会長)

- ・私も同じような意見を持った。観光客の多い地区の住民の意識や、若い世代が町に愛着を持つにはどのようにしたらよいか。肯定的な面からではなく、否定的な面をどのように改善できるかを考える必要がある。

(事務局)

- ・今回は、アンケート結果の数字部分を主に説明したが、事務局ではその結果の根拠の分析を進めている。今後提示する予定である。

(委員)

- ・愛着度に関しては7割の人が愛着を感じている。また定住傾向では5割の人が住みやすいと感じている。高齢者や居住年数の長い人、北部地区の人は愛着度や居住意向が高い傾向にあるが、それ以外の人についてはどのように考察するのか。

(委員)

- ・このアンケート結果は、これから総合計画を策定していくための基礎資料として分析されたものである。基礎資料を基にして作成者が分析を進めていく。第一次産業の農業や漁業に従事している方々は土地、海があるから松島から離れることができない。北部が非常に愛着度が高い理由は一次産業の従事者が多いことにあるのではないか。
- ・国の施策にもあるが、今後どのように子育てをしていくかが重要である。子育てをもっと真剣に取り組む必要があり、松島町での子育ての支援の様なものがないと、国の施策だけでは進まないと感じている。そのような意見をピンポイントで拾い上げ、計画に反映させていくことが大切である。

(職務代理者)

- ・第一次産業や第二次産業についての意見が出されていたが、我々商工業も同じであり、松島という地域内で仕事をし、生計を立てている。サラリーマンの方もそのような意味では町外に働きに出ている、全体的な地域に対する満足度はどのような職業でもあまり差はないのではないか。重要なのは松島という地域である。
- ・アンケート結果には、行政と協力をしてまちづくりをしたいという意見があった。このような審議会を含めて官民が一体となって作り上げる総合計画でなくてはいけない。
- ・アンケートに基づいてマイナス部分をプラスに変えていくことは非常に重要なポイントであるが、それと同時に夢を描くことも重要である。前回も申し上げたが、例えば人口想定はどのようにされるのか。ピーク時の1万7000人台に想定をしながらまちづくりを考えていくのか。あるいは、隣接の発展している町と同じように2~3万人の人口想定をしながらまちづくりを考えていくのか。具体的な着地点をある程度設定していく必要があり、そのために必要な行政サービス、インフラ、雇用先などを考えていくことが重要である。具体的な町の将来設計を目標に掲げながら、ロマンのあるまちづくりの部分も描いていただけるようお願いしたい。

(委員)

- ・岐阜県にある住民の満足度調査で日本一になった市のコラムが経済新聞に載っていた。その市の出来事だが、公園内で害虫が大量に発生し、市に駆除の要請が出た。職員は駆除のために出動しようとしたが、市長に止められた。対処することは容易であるが、対策をするために市民と話し合いの場を設けることが必要であると考えたためであった。この例を考えると、町のことを住民と協働で考えるという姿勢が必要であると感じた。

(事務局)

- ・資料2の説明  
「松島町の現状と課題」について

(委員)

- ・今回の回答数について、1,272部と1,276部という2つの記述がある。違いはどこにあるのか。4部の差の違いを教えてください。

(事務局)

- ・1,276部というのは回収票数である。1,272部は有効票数であり、これを分析した。4票は無効票であった。

(委員)

- ・現状と課題は住民が興味を持つ内容であると感じたが、この資料のままだとわかりづらいため1枚にまとめられないだろうか。
- ・アンケートの結果を見ると、町民から出ている意見は「まち・ひと・しごと創生法」にある3つの視点を越えている。その視点の1つ目は、若い世帯の就労や結婚、子育て希望の実現である。2つ目は東京一極集中の歯止め。これを私は仙台一極集中の歯止めと読む。地域の特性に即した地域課題の解決、そして魅力あふれる地方創生をしようと国を挙げて行っている。この施策がアンケートの結果から出ている。

(事務局)

- ・住民には分かりやすく簡潔な資料を提示したいと考えている。
- ・私どもも同じことを考えていた。まち・ひと・しごと創生法が成立した。そして地方創生関連法としてもう一つ成立したのが、地域再生法の一部を改正する法律である。この法律をどちらも読み込むと、私どもが今までやってきたことと全く変わらない。制度としての地方創生関連法、それからまち・ひと・しごと戦略プランというものがあり、この法律を利用するのがこれからの我々の仕事である。

(委員)

- ・資料は分かりやすくまとめられているが、全体を通じてすべてのページを見るのではなく、より精査しているとさらに見やすいのではないか。
- ・アンケートについては、数値的なアンケートの結果は出ているが、質的なものが重要である。資料1の38ページ以降の質的なものをどのような形で反映したのかを住民の方に示していく必要がある。住民がアンケートに回答し、それが施策に反映されるとするのは協働につながることである。

(委員)

- ・人口について非常に気になるが、総務省の資料を見ると宮城県で最初に無くなるのは南三陸町である。その次は松島町、その次が山元町であった。驚いたことに、宮城県で将来人口が増えていくのは富谷町だけであった。人口の動きの読み取り方が重要である。今までの統計だけにとらわれなくて、切り替えたような統計の読み方もいいのかなという気がする。その辺あたりも計画をお作りになるときは非常に参考にさせていただければよいと思う。

(事務局)

- ・人口については、これまで出されている資料は震災直前の資料で、右肩下がりである。統計データをもとに下から2番目の推計を松島町はされている状況である。東京一極集中とあるが、宮城県には仙台一極集中がある。それを回避するために今後の総合計画に盛り込んでいきたい。
- ・その中で考えていかななくてはいけないのが土地利用である。市街化区域と文化財の保存管理計画エリアがラップしているため、市街化区域でありながら家を建てられない箇所多くある。そのことを考慮しながら将来的な人口フレームを描きたいと思う。

(委員)

- ・今回のアンケートは松島が住みやすいことを再確認するためのものであるような印象を受けた。人口が減少している中、若い世代が子育てをしながら暮らせる町になるという夢がない。魅力ある教育内容の実施や住宅支援などを考えていくべきである。
- ・松島町の現状と課題を見て、若手の方たちの良い意見が沢山あると感じた。これをどのように実行に移していくかは、やはり住民の協力、大勢の方たちが参加する必要がある。誰かがリーダーシップをとって進めていくというシステムを作っていかなければいけない。様々な意見を取り入れていただいて、それを実行に移せるようなシステムを作っていただきたい。

(事務局)

- ・資料3の説明  
「③松島町長期総合計画における「将来像」と「計画の柱」について

(委員)

- ・観光に関して、観光都市という形で記載されているが、今回の国際会議においても、松島町に大勢の外国人観光客が訪れた。窓口を担当したが、大使夫人が1人で観光に来ていた。そのような方が1人で来るということは、松島は安全なところだと評価されていると感じた。「観光都市」という言葉を「国際観光都市」に改めて、将来像を考えるとときに追加していただきたい。今回、実際国際観光都市としての大役、面目を果たしているような気がした。

(会長)

- ・私も同感である。松島は世界で最も美しい湾クラブにも加盟し、世界的な枠組みの中で観光事業を行おうとしている。今回の実感とともにそのようなところを伸ばせたら素晴らしい。

(委員)

- ・アンケートの自由意見は、行政面、道路、保健・医療、商工業、公共交通について非常に多かったが、将来の計画の柱をつくるときに、もう少し分析してはどうだろうか。
- ・町民の意見をカード化してまとめてみてはどうだろうか。地方創生と絡めながらできれば、独立法人でやってもらえるような働きかけができる。
- ・美しい湾、松島の景観を持続・発展させていくためにも、現在の網のかかっている状況をもっと少し地方創生の中で見直し、働きかけても良いと思う。

(委員)

- ・住民アンケートの自由意見で水道料金が安いというご意見が多くあった。引っ越してきた際、妻も驚いていたが、総合計画の施策には含まれていない。生活に不可欠な水道であるため対応が必要である。それが将来の人口を増やすための施策の一つになると思う。
- ・仙台から松島に移り住んだ知人が電車に乗り仙台まで買い物に行っている。若い人だけではなく、高齢者の方も移り住むということを考えると、その方々のためにもっと優

しい、負担の少ないまちづくりを考えていただきたい。

- ・文化財保護について、規制が掛かり市街化を阻害する部分が発生する。文化財保護というのは住民生活があつてのものであると思う。文化財を観光や普通の生活にどのように生かすかということ融合させて考えることが重要ではないだろうか。
- ・松島には、松島を保存するために保存管理計画というものがあり、昭和55年に制定されて以来、10年ごとに見直しされている。直近では平成22年に規制が緩和されたが、住民と行政の話し合いの場を設け、規制をさらに緩和できるようにしたい。次の保存管理計画の改正、改定の前に住民ともっと話し合いをする場を設けるなど、保存管理計画の改正や住民が住みやすくなるための意見などを、住民側から行政に提案する方法があつても良いのではないか。そうすると本来の意味で、歴史・文化・観光・自然・人を活かした観光のまちづくりという、松島の将来を具現化できる。

(委員)

- ・アンケートの中で職業構成が不透明だったクロス集計があつたため、次回に提示して頂きたい。
- ・「国際」という言葉は非常に大事だと思っている。去年仙台で国際会議を開催したが、夕食は是非松島でと思い、松島町の遊覧船やレストランに問合せをしたが、200人を賄える規模の施設はなかった。そのような施設があると良いと感じた。
- ・計画の実施について、まだ具体策が見えない。時期的なことが資料の中にあればイメージが沸いたと思う。
- ・アンケート結果の、不満足部分を掘り下げて次の施策に生かすことも重要だが、上手くいったことを分析し、その結果を次の施策に反映させることも大事である。

(委員)

- ・住民参画のもと、これからどのように町の計画、施策、あるいは行動、どうやって立案していくのかというプロセスが重要である。住民参画の抱負や、既に開催されている検討委員会や若手プロジェクト委員会などが、仕組みを作っていくことのほうがキーワードを羅列するより重要である。是非そのようなことを盛り込んだ内容にして欲しい。
- ・先程、夢のある話は必要とあつたが、アンケートの分析を踏まえて、問題や課題を解決することには限度がある。まずは松島町の方向性を明確に打ち出す必要がある。

(委員)

- ・町民全体の意見がこのアンケートの中に反映されているか疑問に感じる部分はあるが、少なくとも次期計画のキーワードで医療体制の充実が必要になってくると思う。将来像として歴史・文化の創造と継承とあるが、私からするとこれは浮いている。住民は観光客のために松島町で生活しているわけではなく、自分たちの生活があつた上で観光客の方に来ていただいてお金を落としていただく、あるいは歴史的建造物を観光客に見ていただくという形になるが、私のイメージからすると、この将来像の「歴史・文化の継承と創造」を基本理念に上げるよりは、第6章の「松島人エネルギーが躍動する町」が合つていると思う。今の松島にある様々な強み（歴史や文化）を活かして将来的に松島で住みよいまちづくりをしながら生活していく人たちのための計画だということであれば、

この歴史・文化の継承と創造というのは私からすると表現が浮いているように感じる。この中から選ぶのであれば、私のイメージと合っているのは「松島人エネルギーが躍動する町」である。松島の強みを活かしながらその中で脈々と生活し、楽しくみんなでコミュニケーションを取りながら生活していくイメージの方がよい。

(委員)

- ・今回のアンケート結果は社会保障の意見が多く、観光に関する意見は少ない。町民が観光に根ざしているわけではないことがわかる。やはり土地があるから離れられないという考えが多い。実際に話を聞いてみると、土地、海、店があるためであることがわかる。それが長年続き愛着が沸く。利府や塩釜、多賀城に行くという人たちが非常に多い。
- ・観光だけではなく、人口を増やし税収を増やし、地域に根ざした子育てができるよう、医療機関を充実させて欲しい。

(委員)

- ・北部でのアンケート調査で北小泉・下竹谷の回収率が11%というのは非常に低い。町政に関心がないのかと感じたが、実際に住民は、住みやすい、もっと継続して住んでいきたいとの回答が多かった。北小泉と下竹谷には店や自動販売機がない。松島というのは観光地だが、観光地だけでなく北部の方にも少し明かりを灯すようことも考えていただきたい。

(委員)

- ・アンケートの回収率が悪いことについて、国勢調査のように地域の役員に依頼をすれば回収率が良くなるのではないか。
- ・小・中学生は大人にはない様な良い考えを持っているので今後の方針等を立てる際には意見を聞き入れたらよいのではないか。

(委員)

- ・子供を増やすような対策をしていく必要がある。15歳以下の医療費無料は利府町でもう既に行っている。行政だけでなく、我々町民も一緒になって人口、子供を増やすように考えていきたい。今後そのような取組みをお願いしたい。

(町長)

- ・本日の意見を聞いて、現状を分析し、そこから出る答えだけではいけないと感じた。それをどういう手法で実現していくかが重要である。松島の将来を明るいものにしていくのが行政の役割である。



(委員)

- ・計画の柱の最後の部分、4 ページの 4 章、松島の個性を大切に作る心美しい町づくりについて、庁内委員会での意見ということだが、松島の教育の目指す姿というのは誇りと絆を育み、しなやかに生きる松島人ということである。これは教育振興計画をつくり、議会に申請し証明されているものである。そこを見ていただいているのか不安になった。
- ・社会教育ではなくて生涯教育とか生涯学習教育と記載すると一般的になると思う。
- ・美しい湾をどこかに記載してほしい。

(委員)

- ・「歴史と文化の継承と創造」という言葉に松島は押しつぶされているのではないかと感じる。改めて検討していただきたい。
- ・松島の良いところと悪いところは裏腹の関係にあるため、これを簡単に計画で載せると言っているが、実現はほとんど不可能ではないか。是非具体的な項目をこの柱に沿って作成すれば、町民も納得できると思う。

(委員)

- ・このアンケートは年齢が高めの方が多く回答している傾向にある。それで町民全体の意見とするより、バランスを考えれば若手の意見も大いに取り入れる方がよい。

(委員)

- ・若手プロジェクトは意見を言うだけの場なのか。具体的な行動を起こすのが心配である。是非行政で広報し、みんなを巻き込むような力を与えてもらいたい。

(職務代理者)

- ・松島の地域に対する魅力をもっと深いものにしていただくために、やはり松島のルーツを知っていただくということで、地域の伝統と歴史、独特の文化を、是非通常の日常生活の中で伝えられるシステムを作っていただきたい。

(会長)

- ・前回の総合計画に盛り込まれている交通渋滞の問題などは、前回の総合計画の期間で解消できておらず、今回同じテーマが盛り込まれる。是非次の総合計画では解消して頂きたい。

## 4 閉会

(事務局)

- ・以上で平成 26 年度第 3 回松島町総合計画審議会を閉会する。

(終了)